

「(仮称)室蘭市環境科学館・市立室蘭図書館基本計画(素案)」パブリックコメントの実施結果

1. 実施概要

(1) 募集期間

平成28年1月26日(火)から2月15日(月)

(2) 公表場所

市ホームページ、生涯学習課(本庁舎3階) 証明書交付コーナー(本庁舎1階) 広域ビルセンター1階、蘭東支所(愛称:えきがるセンター)、母恋会館、中島会館、本輪西会館、白鳥台会館、市民会館、青少年科学館、図書館(本館)、体育館

(3) 応募方法

公表場所に設置している意見箱への投函及び生涯学習課への持参・郵送・ファクス・電子メールによる提出のほか、市ホームページからの電子申請

2. 募集結果

意見件数 23件 (意見提出者 7名)

3. ご意見等の概要と室蘭市の考え方

「室蘭市の考え方」欄の番号の説明

- | | |
|--|-----|
| : 今回計画を策定する際に、ご意見の趣旨を反映させていただいたもの。 | 2件 |
| : ご意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの。 | 9件 |
| : 今後、事業を検討・実施する際に参考にさせていただくもの。 | 12件 |
| : 検討した結果、ご意見の趣旨を反映できなかったもの及び、その他のご意見で計画では対応できないもの。 | 0件 |

提出者		ご意見等の概要	室蘭市の考え方
A	1	現在の図書館の床では椅子を引く音など好ましくない音が響きやすく、居心地の悪さを感じます。このような騒音を防止するため、新しい図書館にはタイルカーペットを敷き詰めることを提案します。このことは、「(3) 図書館部門の整備方針 全ての市民にとって利用しやすい施設(ゆったりとした居心地の良い施設)」の実現に役立つと考えます。	基本計画(素案:13ページ)では、「ゆったりとした居心地の良い施設」を整備方針に位置づけております。椅子可動時に生ずる音については、ご意見のとおり、対応策を検討する必要があるとあり、今後の設計において、検討を進めてまいります。
B	2	共用部の休憩スペースにレストランや障がい者の授産品の販売スペースを置くべきだと思います。	公共施設内における、レストラン等の事業展開は民間事業者の収益確保が難しい場合があります。一方で、現在の科学館では、週2回程度、事業者の協力により授産品の販売を行っております。新施設においては、市民の利便性向上に資する休憩スペースの充実に向け、検討を進めてまいります。
C	3	ワークショップ意見が反映されていてとても良いと思います。ワークショップに参加し意見を言うことができ、良かったです。	市としても、ワークショップをはじめとする市民意見を尊重し、市民に喜ばれる施設づくりを進めてまいります。
D	4	現在の図書館の自習コーナーは、隣席との仕切りがないため、利用者が多くなると、隣の利用者が気になって落ち着いて自習できなくなる。利用者が落ち着いて自習できるように、自習室における隣席との仕切りの設置と、ある程度の自習室の広さの確保をしてほしい。	現在の図書館の課題として閲覧スペースの狭隘さがあります。基本計画(素案:18ページ)では、個人ブース形式による30㎡の自習スペースの確保を計画しており、今後の設計において、仕様の検討を進めてまいります。

提出者	ご意見等の概要	室蘭市の考え方
E	<p>5</p> <p>バリアフリー設計を前提とした上でのエレベーターやスロープの設置、非常階段に留まらず、非常用のスロープ、階段を使えない方を対象とした非常用具も必要と思う。館内他の設備に関しても、多方面にバリアフリー化を望みます。</p>	<p>基本計画（素案：13ページ）では、「ユニバーサルデザインの視点に立ち、多くの人々が安心して利用できる施設」を整備方針に掲げており、この方針に基づき設備等のバリアフリー対応などを検討してまいります。</p>
	<p>6</p> <p>オストメイト利用者対象トイレも多目的トイレにまとめず(男女共用トイレを嫌う方もいれば、何れかの事件の未然防止の為に)、男女各トイレをバリアフリー化し、着替えやオムツ交換が可能な形式となると良い。</p>	<p>基本計画（素案：14ページ）では、「ユニバーサルデザインの視点に立ち、多くの人々が安心して利用できる施設」を整備方針に掲げており、オストメイト対応を含む多目的トイレの詳細については今後の設計において検討してまいります。</p> <p>なお、多目的トイレの機能を明確化するため、「オストメイト対応に関する趣旨」を基本計画に反映致します。</p>
	<p>7</p> <p>貴館は養護学校の研修先でもある為、駐車場はバスも停車可能な形をとるのも望ましいと思います。</p>	<p>基本計画（素案：27ページ）では、大型バス駐車場の設置を計画しており、利用者の利便性を考慮した配置を検討してまいります。</p>
	<p>8</p> <p>地球温暖化に伴う、火力発電や家庭での電力利用からの、二酸化炭素排出率/温暖化率をパネル閲覧可能とすることや 電力は太陽光又は風力発電で賄うなど、環境にも考慮した設備にすべきと思う(蓄電システムを設置すると、停電時にも開館可能です)。</p>	<p>基本計画（素案：13ページ）では、「低炭素社会実現のためのモデル施設」を整備方針に掲げており、エネルギー利用の「見える化」や再生可能エネルギーを活用した設備導入など基本計画に基づく環境配慮について、今後の設計で検討してまいります。</p>

提出者	ご意見等の概要	室蘭市の考え方
	<p>9 「五感」「更新性」「リピーター」が昨今の科学館新設時に声高に強調されているかと思えます。室蘭市の科学館が現在実現しているかもけんによるコミュニケーションしながら科学に触れる体験は、全国の科学館が叶えたくてもなかなか叶えられない機能を実現している数少ない価値あるものだと思います。何度もチャレンジしてようやく成功する科学体験、かもけんの人たちと技術を身につけたり磨けたりする科学工作・実験体験、稚魚の無料配布などは、常設展示物の更新よりも、リピートを促進させる重要な力をもっています。このことを重視してほしい。</p>	<p>基本計画（素案：21 ページ）では、体験型・参加型を事業展開のコンセプトとしているほか、体験スペースでは、現在の科学館が実践してきた取り組みを継承・拡充していくこととしております。今後も、基本計画素案に盛り込んでいる趣旨を尊重し、事業を進めてまいります。</p>
F	<p>10 かもけんが現在創出している数々のアイテムは、常設展示化すると経費面・安全面の問題で現状の 1/5・1/10 になると思う。室蘭の科学館の宝であるかもけんワールドの継続を切望するとともに、スペースの確保、運営資金の確保、人材育成も重視してほしい。</p>	<p>現在の科学館は、公募の指定管理者による管理運営となっております。今後とも、関係団体などのご意見も伺いながら、魅力的な管理運営のあり方について、検討を進めてまいります。</p>
	<p>11 産業の展示・自然・環境展示については、テーマとしては大変重要と思うが両者とも映像やインタラクティブ装置、パネル等の情報展示の域を越えることが難しいテーマである。このことを考慮して展示のバランス、ボリュームを考慮してほしい。</p>	<p>基本計画（素案：21 ページ）では、体験型・参加型を事業展開のコンセプトに位置づけており、今後の設計において、魅力的な展示となるよう、バランス・ボリュームにも配慮しながら、検討を進めてまいります。</p>
	<p>12 日立市の理科クラブでは、日立 OB が小学校へ出向き理科の実験をサポートする「理科おじさん」を実施している。産業 OB が豊富にいる室蘭の参考にしては。</p>	<p>まちづくり協議会やアンケートなどの市民意見においても、市内企業との連携について多くの意見が出されており、基本計画（素案：2 ページ）においても、企業等との連携をコンセプトに掲げております。今後、ご意見も参考としながら、魅力的な管理運営のあり方について、検討を進めてまいります。</p>

提出者		ご意見等の概要	室蘭市の考え方
F	13	恒久的な施設で陳腐化してしまうのが、最新の映像機器・インタラクティブ装置である。オンリーワン・道内初等といったコトバに惑わされず、実直な装置選択に努めていただきたい。	市としても、将来的な維持管理や更新などを見据えた機器選択が重要であると考えており、今後も関係団体などのご意見も伺いながら、魅力的な展示整備について、検討を進めてまいります。
	14	中高生・あらゆる世代が交流できる機能としてはファブラボ的なものもいいかもしれない。産業OBという財産も活用すべきでは。	<p>基本計画（素案：21ページ）では、体験型・参加型を事業展開のコンセプトに位置づけており、実験スペースなどを活用し様々な事業実施に対応できるよう計画しております。科学館の主な利用対象者は子どもとなりますが、ファブラボの概念も参考としながら、幅広い世代の利用を促す事業展開についても、今後の管理運営において検討を進めてまいります。</p> <p>ファブラボ：デジタル・ファブリケーション（パソコン制御のデジタル工作機械）を揃え、市民が発明を起こすことを目的とした地域工房の名称。 （引用：総務省平成25年版情報通信白書より）</p>
G	15	各スペースの住み分けをしっかりとしてほしい。	基本計画（素案：24ページ）では、ゾーニング・フロア構成において、各スペースの配置関係を記載しており、今後の設計において、詳細を検討してまいります。
	16	ワンフロアなだけに、自習スペースは集中できるようにしてほしい。	基本計画（素案：18ページ）では、自習スペースの静寂性の配慮を記載しており、今後の設計において、仕様の検討を進めてまいります。
	17	開架・閲覧スペースは動線を考慮した配置を要望。	基本計画（素案：24ページ）では、ゾーニング・フロア構成において、各スペースの配置関係を記載しており、今後の設計において、利用者動線にも配慮しながら、検討を進めてまいります。

提出者	ご意見等の概要	室蘭市の考え方
G	18 レファレンス部門の充実を要望。	基本計画（素案：22 ページ）では、レファレンスの充実を掲げており、今後、ご意見も参考としながら、魅力的な管理運営のあり方について、検討を進めてまいります。
G	19 床材は特に気を使って足音が極力響かないようにしてほしい。	基本計画（素案：24 ページ）では、ゾーニング・フロア構成において、各スペースの配置関係を記載しており、施設の特性を踏まえ、階層毎の音の対応について配慮してまいります。 なお、音への対応を明確化するため、「上下階の音に関する配慮の趣旨」を基本計画に反映致します。
G	20 常設展示においてもできるだけ体で感じとれるものを選択してほしい。	基本計画（素案：15 ページ）では、五感で科学を体感できるような展示スペースを計画しており、今後の設計において、体験型・参加型のコンセプトに基づく展示整備について、検討を進めてまいります。
G	21 休憩スペース等は自販機中心になるかと思いますが、可能な場所で実験キットや工作キットの販売が行えると良い。	現在の科学館においては、指定管理者の自主事業により科学関連の販売を行っており、新施設においても、販売状況や利用者ニーズ等を踏まえ、必要に応じて指定管理者と協議してまいります。
G	22 敷地を職員駐車場まで広げたのはとても良いと思う。現在の両施設の遺構となるようなものを検討・選択して歴史をどこかに残しておくようなていねいな作り方をしてほしい。	両施設の歴史性を示すものについては、新施設に必要なか、あるいは既存施設から移設が技術的に可能かなどを、総合的に判断し検討してまいります。
G	23 今後の基本設計や内部構成、展示の方向性などについても細やかな情報発信してほしい。	市としても、今後の事業推進の進捗状況に併せ、市民の皆様へ情報発信を進めながら、新施設の理解促進や周知に取り組んでまいります。